



偉人 坪内逍遙

ほととぎすこじょうらくげつ^{まき} 『沓手鳥孤城落月』 『牧の
かた方』 『二葉くすのき』 を発表
し、新舞踊劇運動で舞踊劇
の理論書『新樂劇論』と『新
しんがくげきろん^{しん}
きょうらしま^{しん} 曲浦島』 『お夏狂乱』 など11
種の作品を発表しました。

演劇家逍遙

逍遙は、母の影響で、幼いころから演劇を好んでいました。東京大学へ入学し、さらに演劇への関心を深めていきました。明治20年ころから演劇改良に向けて意欲を燃やし、演劇に対する理論の研究と実践書である幾つかの脚本を完成させました。

史劇として、『桐一葉』



ほととぎすこじょうらくげつ
沓手鳥孤城落月を演じる
六代目中村歌右衛門氏